

令和6年度印西市地域包括支援センター事業実施報告

圏域の人口等(人)

圏域人	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
圏域内人口	21,308	37,616	24,393	12,011	16,373	111,701
65歳以上 高齢者数	7,138	10,204	3,805	3,679	2,714	27,540
前期 高齢者数	3,446	5,803	2,154	1,644	1,376	14,423
後期 高齢者数	3,692	4,401	1,651	2,035	1,338	13,117
高齢化率	33.5%	27.1%	15.6%	30.6%	16.6%	24.7%

(令和7年3月31日現在)

※以下、令和6年度(R6.4.1～R7.3.31)の実績

(1)包括的支援事業

① 指定介護予防支援(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
ケアプラン件数 第1号介護予防	48	74	38	30	4	194
第1号介護予防 支援分	785	736	439	376	252	2,588
うち委託件数	344	438	256	277	142	1,457
ケアプラン件数 介護予防給付	69	175	90	49	56	439
介護予防給付分	1,451	1,539	637	917	584	5,128
うち委託件数	643	1,148	497	603	340	3,231

② 総合相談支援業務(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
相談件数	1,055	2,089	824	1,065	921	5,954
来所	309	754	159	361	229	1,812
電話	455	1,024	488	577	505	3,049
訪問	281	233	161	113	148	936
その他	10	78	16	14	39	157

相談内容	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
介護保険	924	1,132	501	838	429	3,824
疾病	419	580	258	332	131	1,720
うち認知症	117	195	91	44	37	484
経済・生活に関すること	103	44	58	47	74	327
家族に関すること	47	152	43	221	51	514
高齢者福祉サービス	54	141	36	47	37	315
安否確認	59	56	33	64	12	224

③ 権利擁護業務(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
虐待継続対応	7	5	1	3	0	16
虐待新規対応	2	3	1	2	1	9
成年後見相談	3	11	4	2	0	20
消費者被害相談	1	1	1	2	0	5

④ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(件)

	印西北部	印西南部	船穂	印旛	本埜	全体
ケアマネからの相談支援	80	62	24	134	29	329
指導・助言	49	36	18	112	25	240
同行訪問	19	4	4	30	3	60
研修会・事例検討会の開催(回)	0	0	1	0	0	1

⑤ 在宅医療・介護連携、認知症対策推進事業

ア 在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議の開催

■第1回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議(R6/6/28) 委員14人出席
議題(1)令和6年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業計画について

■第2回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議(R6/11/8) 委員13人出席
議題(1)印西市の認知症施策及び令和6年度事業について
(2)印西市認知症初期集中支援チームの活動報告について

■第3回在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議(R7/3/7) 委員12人出席
議題(1)令和6年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業報告及び令和7年度印西市在宅医療・介護連携、認知症推進事業計画について

イ 多職種連携研修会

■第1回(R6.5.17)参加者70人(日中開催)

事例を用いたグループワーク(職域別、多職種別)

■第2回(R6.12.20)参加者70人(日中開催)

① 講義:「自宅見取りについて」

ラビッツ訪問看護印西 宮本 槇子 氏

講義:「施設看取りについて」

特別養護老人ホーム印旛晴山苑 柴田 勇介氏

② 事例を用いたグループワーク(職域別、多職種別)



ウ 市民講演会(在宅医療・介護連携推進事業市民講演会)参加者:71人

令和6年10月20日(日)開催 会場:文化ホール2階多目的室

テーマ:「リアルを知りたい!『自宅看取り』と『施設看取り』」

講演①「自宅看取り」

講師:印西総合病院 院長 永井 雅巳 氏

講師:ラビッツ訪問看護印西 代表取締役 宮本 槇子 氏

講演②「施設看取り」

講師:特別養護老人ホーム 印旛晴山苑 事務次長 柴田 勇介 氏

ディスカッション

座長:千葉新都市ラーバンククリニック 院長 河内 雅章 氏

エ 介護と医療サポートガイドの発行

関係機関にアンケートを実施し、地域包括支援センターや訪問看護事業所等と掲載内容や情報の見直しを行い、令和8年3月に1,200部発行予定(隔年発行)。

オ 各事業所の連絡会等

■特別養護老人ホーム連絡会 4回

連絡会の運営や介護人材就業促進事業等について検討。

■通所介護事業所連絡会 3回

連絡会の運営や介護人材就業促進事業等について検討。

■訪問看護ステーション会議 訪問看護事業所主催により11回出席。

⑥ 生活支援体制整備事業

【第1層(市全域)】

印西市社会福祉協議会へ委託し、生活支援コーディネーター1人を配置

■市民フォーラム

令和6年10月9日(水) 参加者24人

・講演「人生100年時代を豊かにする地域の支え合い」

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会

医療経済研究機構 政策推進部副部長 国際長寿センター 中村 一郎 氏

・第1層・第2層生活支援コーディネーターによる活動報告

■生活支援サポーター養成講座 受講者15人 修了者14人

令和6年11月14日、21日、28日(3日間コース)

1日目講師:高齢者福祉課「これからの超高齢化社会～自分ならどうする?!～」

第1層生活支援コーディネーター「生活支援コーディネーターについて」

第2層生活支援コーディネーター「地域での支え合いを考える～助け合い体験ゲーム～」

2日目講師:特別養護老人ホームプレーグ本塾 館 和則氏「高齢者・認知症の理解」
印西総合病院リハビリテーション部 田染 佐夏氏
「高齢者を知る～フレイルや栄養面について～」

3日目講師:千葉県介護福祉士会 濱田 竜也氏
「高齢者の生活支援～基本的な心構え、身近な地域で出来ること」
第1層および第2層生活支援コーディネーター「高齢者への生活支援の紹介」

- 生活支援サポーター養成講座フォローアップ研修 受講者10人
 - ・対象:令和元年度から令和6年度までの「生活支援サポーター養成講座」修了生
 - ・内容:参加者の近況報告や、ゆうゆうサービス、印西市シルバーサービス、外出支援サービス、印西市ボランティアセンター、いんざい健康ちょきん運動、生活支援コーディネーターのブースを作り、活動を周知し、高齢者の生活支援に関する活動への登録などにつながるよう努めた。

【第2層(日常生活圏域)】

各地域包括支援センター受託の法人へ委託し、生活支援コーディネーター各センターに1人ずつ配置(計5人)

■地域資源の見える化

- ・「印西市社会資源マップ～高齢者にやさしいお店・サービス等の情報誌～」を、個別支援における地域とのマッチングに活用。令和7年度の更新に向け、見直しを開始。
- ・印西南部・船穂圏域で共有の社会資源情報をまとめ、居宅介護支援事業所などに配布。

■協議体

- ・協議体の設置はなかったが、地域の集まりに参加し、地域住民の声を聴き、ニーズ把握に努めた。

■その他活動

- ・男声歌声サロン「にじいろ」を北部圏域と南部圏域合同で開催し、地域の方の通いの場として活動を行った。
- ・住民座談会などにおいて、生活支援コーディネーターの活動報告、意見交換などを実施。

【第1層・第2層協働】

■生活支援コーディネーター通信(広報誌)の作成

- ・体制整備事業および生活支援コーディネーターの役割の周知のため広報誌を作成。

■SC 移動サロンの開催(2回)

- ・5圏域の生活支援コーディネーター協働で船穂圏域と印旛圏域においてサロンを開き、各圏域の地位住民への生活支援コーディネーター周知やつながり作り、サロンでの話し合いや意見交換によるニーズ把握・課題の発見に努めた。また、生活支援コーディネーターの資質向上やサロンの運営などを学び、自圏域に活かした。

【千葉県地域包括ケアシステム構築にかかるアドバイザー派遣事業の利用】

令和6年10月23日、12月16日、令和7年2月21日、3月10日(計4回)

生活支援コーディネーターの活動内容の整理・検討、ニーズ把握シートを活用した課題の整理・政策形成への助言、短期集中予防サービスと本事業のつながりや介護保険サービス事業所などにアンケートを実施し現状を把握するなどについて、講師に助言をもらいつつ、検討を重ねた。

⑦ 認知症施策の推進事業

ア 認知症カフェの開催

各地域包括支援センターにて会場・内容を検討し実施した。

■延べ開催数 34回 参加延べ人数859人

印西北部地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和6年6月8日(土)	13時30分 ～ 15時30分	文化ホール	35人
9月14日(土)		小林公民館	30人
10月5日(土)		文化ホール	44人
11月9日(土)		中央公民館	23人
12月14日(土)		小林公民館	33人
令和7年2月8日(土)		小林公民館	30人
開催回数 6回			195人

印西南部地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和6年4月22日(月)	13時30分 ～ 15時30分	サザンプラザ	25人
5月22日(水)		中央駅前地域交流館	28人
7月22日(月)		フレンドリープラザ	25人
9月21日(土)		中央駅前地域交流館	29人
10月22日(火)		サザンプラザ	24人
12月22日(日)		デイサービスアインキューゲル	30人
令和7年2月22日(土)		フレンドリープラザ	21人
3月22日(土)		サザンプラザ	23人
開催回数 8回			205人

船穂地域包括支援センター

○13時30分～15時30分 ●10時00分～12時00分

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和6年5月25日(土)	○	ふれあい文化館	30人
6月22日(土)	●	船穂コミュニティセンター	20人
7月26日(金)	●	原集会所	21人
9月28日(土)	○	トミオコスモステラス	25人
11月16日(土)	○	ふれあい文化館	34人
12月14日(土)	●	船穂コミュニティセンター	21人
令和7年2月15日(土)	○	ふれあい文化館	37人
開催回数 7回			188人

印旛地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和6年5月17日(金)	10時～12時	印旛包括	19人
7月2日(火)		ふれあいセンターいんば	25人
8月28日(水)		印旛包括	20人
9月20日(金)		平賀学園台自治会館	13人
10月10日(木)		松虫構造改善センター	10人
10月31日(木)		大廻構造改善センター	15人
11月11日(月)		萩原構造改善センター	12人
開催回数 7回			114

本埜地域包括支援センター

月 日	時 間	会 場	参加人数
令和6年5月19日(日)	13時30分 ～ 15時30分	滝野小学校	40人
7月13日(土)		牧の原地域交流センター	22人
8月31日(土)		安食ト杭集会所	25人
10月12日(土)		牧の原地域交流センター	17人
11月23日(土)		滝野小学校	25人
令和7年2月24日(月)		和集会所	28人
開催回数 6回			157人

イ 認知症予防出前講座「知って安心!!認知症予防!～学べばこわくない認知症～」

令和6年 8月 2日(金)学校職員	参加者 8人
令和6年 9月 6日(金)印旛図書館	参加者22人
令和6年11月30日(土)男性歌声サロンにじいろ	参加者17人
令和6年12月10日(火)フレンドリープラザ	参加者18人
令和6年12月18日(水)中央公民館	参加者18人
令和7年 3月 6日(木)市民団体	参加者 8人

ウ 認知症地域支援推進員・認知症キャラバン・メイトの養成

認知症地域支援推進員	5人
認知症キャラバン・メイト	5人

エ 認知症ケアパス

認知症地域支援推進員および千葉県認知症コーディネーター等との意見交換会にて掲載内容・情報の見直しを行い、令和6年3月に居宅介護支援事業所・医療機関・公民館等へ配布。

オ 人材育成に関する意見交換会

市内の認知症地域支援推進員及び千葉県認知症コーディネーターと、認知症施策の推進について、チームA(周知)、チームB(育成)、チームC(連携)に分かれて話し合いを行った。

	チームA	チームB	チームC	合計
意見交換会開催数	3回	4回	1回	8回

【主な活動】	チームA	認知症メモリーウォーク
	チームB	小学校用認知症サポーター養成講座教材動画作成
	チームC	アルツハイマーデーイベントでオレンジカフェ開催

カ 認知症初期集中支援事業

印西市認知症初期集中支援チームを日本医科大学千葉北総病院に設置。
初期集中支援チームによる支援の実績は令和7年3月末で7件(昨年度からの継続ケース1件、新規ケース6件)。

キ 認知症早期発見事業

日本医科大学千葉北総病院主催イベント(世界アルツハイマーデー)を、印西市文化ホールで開催した際に、物忘れプログラムを設置し12人の利用があった。また、包括が実施する認知症カフェや地域のサロンで物忘れプログラムを活用し13人の利用があり、令和6年度の利用者は合計25人。

介護予防事業のひとつとして作成した、印西オリジナルの「はじめよう!脳活問題集 第3弾」を、配布した。

ク 認知症メモリーウォーク in いんざい

認知症に対する理解と支援を広げるための取り組みとして、認知症メモリーウォークを開催した。認知症の当事者や家族及び支援者等が、認知症支援のシンボルカラー(オレンジ色)の物を身に着けて市内を行進し、認知症に対する啓発活動を行った。

開催日:令和6年11月10日(日)
 会場:牧の原モア～BIGHOP
 参加者:49人
 後援:認知症疾患医療センター
 (日本医科大学千葉北総病院)



⑧ 地域ケア会議

	北部	南部	船穂	印旛	本埜	全体
地域思いやりケア会議	3回	5回	1回	1回	1回	11回
地域ケア推進会議	3回	2回	2回	1回	1回	9回

■自立支援型地域ケア会議

	月日	参加人数
自立支援型地域ケア会議	5月21日	11人
	7月19日	11人
	9月20日	12人
	11月19日	13人
	令和7年1月21日	13人
	令和7年3月18日	14人
計	6回	74人

高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援や地域資源の発見と開発、自立支援の考え方の共有を目指し、多職種協働で検討を行った。

また、介護支援専門員の自立支援に即した考え方の定着や、生活支援コーディネーターの資質向上のため、居宅介護支援事業所等に自立支援型地域ケア会議に積極的に参加していただけるよう、段階的に体制を整えている。

■市地域ケア会議

令和7年3月21日(金)開催

出席者:19人(高齢者福祉関係者、警察、消防、医療・介護サービス事業者等)

議題:認知症に関する課題と取り組みについて

⑨ 任意事業

ア 家族介護者教室

日時:令和7年3月1日(土)午後1時30分～3時00分

会場:印西市文化ホール2階多目的室

テーマ:「知っておきたい・介護の話」

内容:講話及び実技

講師:千葉県ホームヘルパー協議会 会長 境野 みね子氏

参加者:男性12人 女性21人 計33人



イ 認知症サポーター養成講座

■一般(成人)向けサポーター養成講座 16回 326人

対 象	受講人数
町内会・自治会等	148人
企業	37人
行政職員	67人
大学生	15人
その他	59人

■小学校向け認知症サポーター養成講座 17校 1,131人

学校側のご理解ご協力により18校中17校で実施。対象は4年生から6年生。

講師は担当圏域の地域包括支援センターに在籍する認知症キャラバン・メイトが務め、45分のプログラムで実施した。

ウ 成年後見制度利用支援事業

成年後見市長申立て件数

令和6年4月1日～令和7年3月末	市長申立て件数	2件
	市長申立て相談件数	3件
	後見人等報酬助成	5件

○関係者支援方針会議の出席 1回

○受任調整会議の出席 1回

⑩介護予防・日常生活支援総合事業

ア 介護予防・生活支援サービス

■通所型サービスC(短期集中予防)利用者数 8人

■訪問型サービスD(外出支援)利用者数 6人



イ 一般介護予防事業

■介護予防把握事業(健やかチェック)

基本チェックリストを主としたアンケートを、介護認定を受けていない75歳以上の対象者に送付

送付者数 10,410人 回答者数 5,626人(回答率 54.0%)

■介護予防普及啓発事業

はじめよう！脳活問題集配布数 約 3,400冊

フレイル予防パンフレット配布数 約 4,200冊

介護予防教室「のばせ！健康寿命」 5回(実人数 54人 延べ人数 55人)

介護予防教室「フレイルを予防しよう」 2回(実人数 38人)

■地域介護予防活動支援事業

いんざい健康ちょきん運動の後方支援

グループ数の推移

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
72グループ	75グループ	83グループ	86グループ